

R7年度第1回 学校運営協議会 議事録

校 名	府立枚方津田高等学校
校長名	吉武 進

開催日時	令和7年5月22日（木） 15:30 ～ 16:30
開催場所	大阪府立枚方津田高等学校 2階校長室
委 員	久保田 豊司 委員 西村 孝彦 委員 田中 博 委員 須藤 英哉 委員 原田 鉄士 委員 坂東 さとみ 委員
学 校	校長 吉武 進 教頭 谷 明道 事務長 石川 浩史 首席 佐藤 正弘 首席 橘 守亮 教諭 荒野 博司 教諭 宇賀神 充利 教諭 江西 真弓
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度学校経営計画について
備 考	

議題等（次第順）
次第・内容 1 校長挨拶 2 ・学校運営協議会委員紹介 ・昨年度から引き続き、久保田 豊司 委員を会長に選出した。 3 令和6年度学校評価の確認 ・昨年度の第3回に多くの項目で最終結果を示していたため、一部分のみ説明した。 4 協議 「令和7年度学校経営計画の本年度の取組内容について」 （ア）・大阪府から「定員割れの学校なら、どんなに要配慮の生徒でも受け入れる。介助員をつける。」と聞いていたが、こんなに介助員への支払いが少ないとは知らなかった。議員とも話したが、こんな悪条件であることは知られていない。中学校での介助員はもっと好条件だった。 ・支援学校も生徒が多くなってパンクしているが「インクルーシブ教育を推進していく時代なので、普通高校に行ってください」と言われているのにひどい状況とを感じる。 ・記録を残して、求めていくしかない。改革できるところから取り組んで欲しい。 ・大学生が、要配慮生徒の介助に来てくれるという話を聞いて、大学との提携を結ぶことを考えてはどうだろうか。 （イ）・探究活動で、いろんな活動を取り組まれていて、学校の柱にしていけそうな活動であると感じた。DXを活用して、さらに生徒の充実度を高めるように頑張りたい。 探究活動の充実度や満足度を測定できるといいのでは。 ・会社のものづくり指導などでプレゼンテーションをさせると、基礎的なこともできていないことがある。高校生の間から、指導を受けられるのは望ましい。 ・一般企業の立場から、DXの話を聞いて、デジタル教育が思っている以上に進んでい

て驚いた。社会人になると必要なスキルなので、ぜひ伸ばして行ってほしい。

→校長マネジメント経費でも、使える予算が少なくなっている。文部科学省から DX と
して多額の予算を配分していただけるのはとてもありがたい。

(ウ) ・キャリア教育はどんなところを大事にして取り組まれているのか。どうやってしっかりと目標を定めさせているのか聞きたい。

→まずはどんな大学や専門学校等があるのかを知ってもらうため、1 年生から分野別説明会などを行なうとともに、オープンスクールには必ず参加させている。そして、こまめに進路指導を行って、自分が進学したい分野や学びたい内容を考えさせるように促している。

(エ) ・数年前に比べると、デジタル教育やインクルーシブ教育など、内容のボリュームが上がっている。オンが増える（仕事増）一方、オフ（削除）をどのように行ってバランスをとっていくかが重要だと考える。

5 その他

・昨年度の進路結果について、進路指導部から説明があった。

6 諸連絡

・次回は、10 月 24 日（金）に開催予定。

7 閉会挨拶

【議決内容】

・久保田 豊司 委員を会長に選出した